

ふれあいサロン支援事業(大田区)

- 高齢者の活動の場及び交流の場の創出・拡大策として、ふれあいサロン支援事業を実施し、地域で主体的に取り組んでいるサロン活動に対し、情報提供や関係機関との連絡調整、取り組みの周知等の支援を実施しています。
- これまで支援を行った2つの団体がサロンを新規開設し、地域に溶け込み、多くの方に利用されています。

【ふれあいサロン支援事業】

①情報収集・情報提供

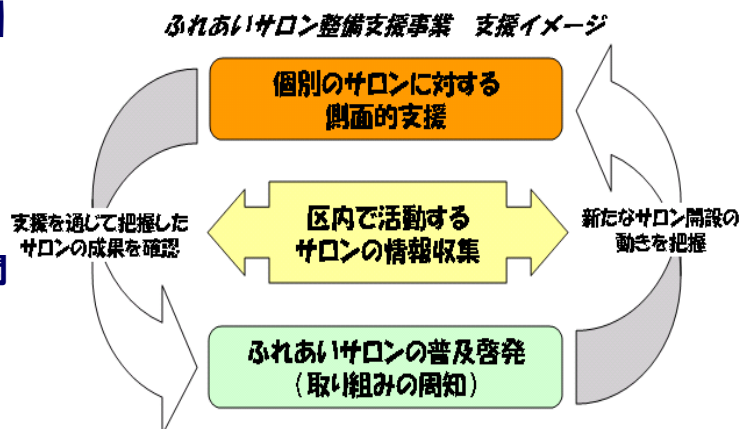
⇒サロン活動の調査

②側面的支援

⇒支援制度の紹介、関係機関との連絡調整・立会い

③普及啓発

⇒取り組みの周知(サロン活動事例集の作成など)



みま～もステーション



◆開設支援を行ったサロンの事例◆

みま～もステーション(おおた高齢者見守りネットワーク)



商店街とタイアップし、商店街内の空き店舗を改装、借り受け、広く高齢者が集う“お休み処”をオープン。ココを活動拠点として高齢者向けのミニ講座や会食会(みま～もレストラン)などを、毎月10講座程度開催している。

久が原ふれあいサロン虹の部屋(介護者サロン虹)



商店街内の空き地に平屋を新築。人の輪を広げ、地域の拠点となるよう、誰もが気軽に立ち寄れる場所として活動している。介護の相談のほか、塗り絵教室、数独を楽しむ会、歌声喫茶など多彩なプログラムを実施している。

虹の部屋



地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①市区町村名	大田区
②人口（※1）	698,367人（平成25年4月1日現在）（ ）
③高齢化率（※1） （65歳以上、75歳以上それぞれについて記載）	・65歳以上 21.5%（ ） ・75歳以上 10.2%
① 取組の概要	高齢者の活動の場及び交流の場の創出・拡大策として、ふれあいサロンの整備事業を実施し、地域が主体となり取り組んでいる活動に対する支援を行う。
⑤取組の特徴	直接的な財政支援等ではなく、地域主体の取り組みに対する側面的支援として事業を実施。
⑥開始年度	平成21年度
⑦取組のこれまでの経緯	事業開始当初の取り組みとして、先進事例の情報収集を行うとともに、区内における実態や支援制度の把握等を行い、モデル事業の検討を行った。その後、モデル事業の対象とする地域団体等を選定・支援を開始し、支援を行った2つの団体がサロン（みま～もステーション、虹の部屋）を開設した。
⑧主な利用者と人数	地域の高齢者 ・みま～もステーション 930名 ・久が原ふれあいサロン虹の部屋 4,155名
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	○事業の実施主体：大田区 ○サロン開設に取り組んだ団体 ・おおた高齢者見守りネットワーク（通称「みま～も」） ・介護者サロン虹
⑩市区町村の関与（支援等）（※2）	支援の内容として、①区内のサロン活動の「情報収集・情報提供」、②既存の支援制度の紹介や関係機関との連絡調整等の「側面的支援」、③ふれあいサロンの普及啓発（「取り組みの周知」）を行っている。
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※3）	なし
⑫取組の課題	区として、サロンによる取り組みが地域福祉の向上に資するように、区内の日常生活圏域（4か所）の各地域においてサロン支援を実施し、情報を収集しながら、今後の事業展開・支援のあり方について検討を行う。
⑬今後の取組予定	今後も側面的支援を継続していくとともに、ふれあいサロン支援事業を更に発展させるため、区有施設等を有効活用したモデル事業の実施を予定。
⑭その他	
⑮担当部署及び連絡先	福祉部高齢福祉課 電話 03-5744-1268

※1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を（ ）内に記載してください。

※2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。

※3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。